

# 災害ボランティアの心得



災害ボランティア活動は、支援を求める被災者のニーズと支援者の熱い思いによって成り立っています。

作業の一つ一つを被災者である家屋の所有者に十分確認するなど、コミュニケーションを取りながら被災者の気持ちに寄り添って、活動を行いましょう。



何気ない言葉や行動が、被災者の心を傷つけてしまうことがあります。泥水などで汚れてしまったものでも、被災者にとっては大切なものかもしれません。割れた皿などが散乱した家屋内に土足で入る際には一言断るなど、被災者への配慮を忘れないようにしましょう。

被災家屋内や周辺で記念撮影したり、写真や個人情報をSNSに投稿しないようにしましょう。



社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会  
岐阜県ボランティア・市民活動支援センター

住所 〒500-8385 岐阜市下奈良2丁目2番1号

TEL 058-274-2940 HP <https://www.winc.or.jp/>

手引きの詳細版は



こちらから閲覧・DL できます

# 水害発生時の 災害ボランティア活動の 手引き

概要版



- この手引きは、被災した家屋復旧に向けた一般的な手順の中で、ボランティア活動の留意事項を示したものです。
- 対応が困難で判断に迷う場合は、無理に進めずに、災害ボランティアセンターに相談してください。

※詳しくは、岐阜県が作成した「水害発生時の災害ボランティア活動の手引き」をご覧ください。



岐阜県社会福祉協議会

## Step 1

### 被災状況の確認・記録

- 被災者には、罹災証明書や保険金の請求等のために、住宅の浸水位置など被害の様子がわかる写真を撮る必要があることをお伝えください。
- また、家屋が一度でも浸水したら、床下に泥が入り込んでいないか、床上浸水だった場合は、壁や天井も含めて被災者に確認していただきましょう。
- 必要に応じて、床下、壁、天井の状況や復旧までの手順等を建築業者など専門の方に確認していただくよう被災者にお伝えください。



## Step 2

### 復旧までの手順の整理

- 被災者が復旧までの手順を整理していることを確認してください。
- 活動は、被災者に依頼内容を確認してから開始してください。

## Step 3

### 家財(家具・家電等)の搬出

- 家屋内での活動を行うため、被災者の意向を確認しながら、家財の搬出を行います。
- 家財や家屋に傷をつけないよう注意してください。
- 家財を廃棄する場合には、自治体の分別方法を被災者に確認してから廃棄場所（仮置き場を含む）に運んでください。



水害発生時の

知っておきたい!

# 災害ボランティア活動

## 8つのステップ

## Step 7

### 片付け及び掃除

- 窓拭き、外壁洗い、庭掃除など被災者の意向に基づき、活動を行ってください。

## Step 8

### 家財の搬入

- 家財や家屋に傷をつけないよう注意のうえ活動を行ってください。

## Step 6

### カビ落とし、消毒、乾燥

- 泥出しや清掃が終わってから、カビ落としや消毒を行ったうえで、乾燥を行います。
- 被災者から、カビ落としなどを依頼された場合は、専門家の指示を受けたのかどうかを確認のうえ、受けている場合は被災者の意向に従って活動を行ってください。

## Step 5

### 床下の泥出し清掃

- 床下に水や泥などが入っていた場合、これを除去します。まず水を除去してから泥を取り除いてください。
- 床下が暗く、非常に狭い中での活動の場合は、災害ボランティアセンターの指示に従ってください。

## Step 4

### 床板・壁はがし

- 床下の泥出しや壁内部の浸水に対応するため、床板・壁はがしが必要となる場合があります。
- 被災者から床板や壁はがしを依頼された場合は、専門的な技術や知識が必要となり、安全管理も他の作業と比べ多くのことが求められる場合があるため、建築業者など専門の方に対応を相談するようお伝えください。
- 浸水した床や壁を放置すると、カビなどが発生し、悪臭のもとになるため注意するよう、被災者にお伝えください。特に水を含んだ断熱材がある場合は、早めの撤去が必要です。